

平成27年12月15日発行

No.294

《15周年祝賀会 特別号》



発行元：社会福祉法人 拓く

TEL 0942-27-2039

FAX 0942-27-2086

http://h-polepole.com

ほごしゃ
保護者

めっせーじ
メッセージ

しゅうねん むか しゅくが かい おも こと 15周年を迎えての祝賀会で思う事

15周年おめでとうございます。そして、感謝申し上げます。

ぽれぽれは、希にみる施設の有り方で多くの方々のご尽力と熱い思いが詰まって生まれた施設です。祝賀会でぽれぽれの歩み等のビデオを観て、あれから15年経ったのかと（その前の活動もあります）当時の頃が走馬灯のように蘇り、最初から入所した我が子を思うと感慨深いものがあり、胸がいっぱいになりました。これまで携わって下さったたくさんの方に感謝せずにはおれません。“ありがとうございます”

祝賀会には独立した姉・兄も感謝の思いで出席しました。これからも利用者の皆さんが生き生きと過ごせる施設であってほしいと思います。どのように支え合い、寄り添っていくか、姉・兄の思い・親の思いは尽きませんが、今回の祝賀会に参加し、さまざまな思いを肌で感じた姉・兄と、より深い話が出来たので参加してくれて良かったと思います。これからも利用者の皆さんが人として生き生きと楽しく過ごしていける様、周りの者が知恵を出し合い、20年、25年、30年・・・と「拓く」が続いていく事を願っています。どうぞよろしくお願い致します。



（保護者 山本 富）

しゅく いん
職員

めっせーじ
メッセージ

いっしょうけんめい すがた えが お みんなの一生懸命な姿、笑顔。よしっ！また頑張ろう！

拓くが15周年を迎えた祝賀会で、これまでの歴史の映像が流れました。それを見ていると、私も考えてみたら働きはじめて8年が経とうとしているのだとしみじみと思いました。これまで働いてきた中で利用者や保護者、地域の方達と出会い、多くのことを学ぶことができましたし、人と人とのつながりが支えになり、力になっています。これからも、新たにさまざまな人と出会い、つながりを作って、さらに盛り上がっていきたいと思いました。



また、利用者の皆さんは出し物に一生懸命に取り組んでおられました。その輝いている姿を見ていると、これからも、みんなが輝ける機会をたくさん設ける必要があると思いました。今回も、みんなの一生懸命な姿や笑顔を見ることができて、「よしっ！また頑張ろう！」という気持ちになりました。頑張るぞ〜！！

（夢工房 野瀬 渉）

りょうしゃ
利用者

めっせーじ
メッセージ

いわ たいこ えんそう たの 祝い太鼓を演奏。楽しみながら、やり遂げました！！

私は、今回の祝賀会で初めて和太鼓を始めました。最初は、経験がないので戸惑いもあり、迷いもありました。が、「最初から成功なんてない。失敗、間違い、練習を繰り返さないと何も始まらない。リアルに何事も楽しみ、やっていかないと、その場止まり。何も始まらない。スタート時点ですら立てやしない」と思いました。他の人の手を借りて練習出来ても、3人又は先生と一緒に練習する機会はありません。和太鼓を使ってした練習すら数回でした。それでも、一緒に出来なかった分、時間を削りながら三人で練習をしてきました。休憩中は、四人でこの機会に色んな所で太鼓をやりながら、やっていく人達を増やして行こう、と話し合っていました。でも、先にやる「祝い太鼓」を成功させる為に練習をやっていました。しかし、本番間近になると緊張と不安であまり寝付けませんでした。



でも、不安なのは自分だけじゃない。回りも同じ。不安に思うんじゃなく、リアルに楽しまなくちゃ後悔する。やれる事は、やって来た。それをやるだけの事でした。すると、不安に思っていたのがおかしくて、緊張と同時に笑えてすらかきました。そして、実際にやり終えた時、少し間違えて悔しくなくはありませんでしたが、やって良かったと思いました。

（B班 佐藤 誠二）